

学習参観、学級分会のご参加ありがとうございました

9月4日に人権学習参観と学級分会を行いました。あいにくの雨模様でしたが保護者の皆様には、多数ご出席いただき、ありがとうございました。学習の様子はいかがだったでしょうか。学級分会では、参観された数よりも参加者数が減りましたが、各学年とも有意義な話し合いができました。

人権について保護者の皆様と意見を交流することで、私たち教職員もよい学びとなりました。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

人権学習参観・学級分会を通して、子どもだけでなく私たち大人も一人ひとりが自分の問題として考え、誰もが安心して過ごすことができる大原小学校、さらには「人権のまち小郡」をつくっていききたいと思います。

小郡市長さんによる あいさつ運動・読み聞かせ

9月8日に、小郡市の加地市長さんが来校され、朝のあいさつ運動を行っていただきました。夏休み明けのなかよし班登校時では、残暑が厳しいこともあり、少し元気がない様子でしたが、この日は登校してくる子どもたちの元気な「おはようございます」のあいさつの声が響きました。加地市長さんから「いいあいさつですね」とほめていただきました。

あいさつ運動の後には、2年1組で読み聞かせをしていただきました。子どもたちは、集中してお話を聞いていました。

教育条件整備に関する署名について ご理解とご協力を

大原中校区では、PTAのご協力と、地域の皆さんのご理解をいただき、毎年多くのご署名をいただいています。昨年度は、個人署名と組織や団体の代表者による団体署名に取り組みました。特に、戸別訪問で署名活動を行っていただきました保護者の皆様、誠にありがとうございました。

おかげさまで、大原校区で、**5,415筆の個人署名**をいただきました。(R6年度よりも増えています!)

こうして集約した「市民の声」は、小郡市当局、小郡市教育委員会、福岡県教育委員会に届けています。その結果、市内すべての小・中学校に人権・同和教育を推進するための教職員を配置していただきました。

また、学び場支援事業にも現在40名を超えるの児童が参加し、放課後の遊びと学びに励んでいます。先日の学級分会時の子どもの見守りは、人権のまちづくりの一環として、BBクラブのスタッフさんにご協力いただきました。このように多くの子どもたちの育ちと学びを支援するために署名が役立っています。

本年度も、引き続き、次の項目を要請いたします。(主なものです)

- すべての子どもたちの自己実現に向けた教職員を定数より多く配置すること
- 奨学金制度の改善と充実すること、安心して学べる環境を整備すること
- 放課後学習支援事業(学び場支援事業)をはじめとする社会教育制度の充実すること

教育条件整備運動は、市内の「すべての子どもたちが、自分の夢や目標に向かってがんばることができるように…」と願いを込めて継続されています。そこで、本年度も、教育条件整備全体学習会を、大原中学校を会場に、9月17日(木)19:00から実施します。この教育条件整備運動の必要性や意義、署名活動の行い方などを確認する大切な学習会です。皆様のご参加をよろしくお願いします。